

3年 算数
小数

番組 「さんすう犬ワン」

放送回 第12回「小数ってなに?～小数～」

実践者 北海道旭川市立新富小学校 教諭 大西 陵公

番組で起こる生活場面の算数に関わる事件が、児童の解決したい意欲を喚起し、問題解決的な学習を進めることができます。

番組の使い方

活用のねらい

①端を小数で表すこと、②小数の大小を0.1のいくつ分で比べること、③整数と小数の筆算を正しく計算することの3つの内容を扱っている。本時では、児童が間違いやすいとされる③について正しく計算し、説明できることを目的に活用する。

具体的な手立て

番組の3つの構成の最後の「整数と小数の筆算を正しく計算する」場面を扱った。パン屋さんが小麦粉の注文に筆算を使って計算したら、小麦粉が足りないという問題場面までを授業の前半に視聴。その後、自力解決、全体交流を踏まえた上で、残りの解決場面を視聴した。

授業の概要（7／8時間）

本時の目標

整数と小数の筆算の加減計算の仕方を考え、正しく計算することができる。

前時の振り返り（1分）

・小数どうしの加減計算の振り返りをする。

番組視聴①（5分）

・12kgの小麦粉と7.2kgの小麦粉を合わせると、8.4kgになりました。計算は合っているのに答えが違う。

問題把握（1分）

・ $12 + 7.2$ の答えは？

課題設定（1分）

整数と小数の筆算の仕方を考えよう。

自力解決（3分）

全体交流（5分）

・位をそろえて計算すると19.2kg。

番組視聴②（2分）

・1kgの砂糖をはかりに載せると「1.0kg」と表示される。つまり、12は12.0で表すことができる。

課題のまとめ（7分）

整数の1/10の位に0があると考えると計算できる。

特殊な場合の類似問題（10分）

練習問題（10分）

生き生きと学ぶ子どもの姿

課題解決への高い意欲

問題把握の時点で、見通しをもっており、「早く解きたい」「言いたい」という解決への意欲が高かった。

解決方法を知る感動

結末部分の視聴では、視覚的な捉え方、説明の仕方のわかりやすさに納得し、自分のものにしていった。

日常生活への広がり

整数を小数表記しているものが他にないか、番組で使われた例のほかのものを探す様子が見られた。

指導を終えて

1つの単元を教科書と番組とを併用して学習を進めたことにより、子どもの学習意欲を十分に高めることができた。また、文章問題を苦手としている子には、問題把握を容易に行うことができた。視覚的な捉え方、説明の仕方といった面で参考になるところも多かった。番組活用を通して、説明できるようになった子、説明の楽しさを実感する子も増えた。児童へのアンケートでは、概ね目標を達成できたという自己評価である。中でも8割以上の子が「楽しい」「自分にもできそう」という感想をもっていた。学習意欲の向上、有用感や積極的活用の意識の高まりといった変容が見られた。

